

## なんとか学校に行ってほしい。先の見えないトンネルの中で不安との闘いでした。 (不登校生をもつ母親の手記より)



腹痛を訴えての欠席が目立つようになって、欠席連絡するようになっていたが、息子の気持ちの変化には気づいてあげられなかった。なんとか学校へ行ってほしい、どうしたら登校させられるかと、とにかく学校へ行かせなければいけないという固定観念に囚われていた。息子は「行けるようになったら行くから心配要らない」「行きたいけど今は行けない・・・」と、言い張って周囲からの助言や友人からの誘いにも耳を貸さない。家族との接触を避けるため、自室に籠もることが多くなる。夜は眠れず、昼夜逆転の生活、食欲も減少。私は「学校に行けない」という息子と「学校へ強引にでも行かせよう」とする夫や義父母との間で板ばさみ状態だった。身近な人にはなかなか相談できず、教育相談員の方々に相談するも解決策は見つからない。私自身は息子を信じ静観しようという気持ちになっていったが、夫や義父母には理解してもらえず、それぞれとの関係がギクシャクしてしまう。地域の方々や親戚にも噂が広まり、皆同情はしてくれるが、解決策につながることはなかった。息子を信じて待つしかないのだと思う反面、先の見えない不安に囚われイライラする事が多かった。夫と言い争うこともあった。先生方に相談している事を夫に話してから、夫は強制的に息子を登校させることを諦め、徐々に私のやり方を見守ってくれるようになった。

・・・・・・・・

現在、息子は後悔の気持ちは大きいようであるが、当時の自分を客観視できるようになった。高校へ入学し新しい環境への期待が大きく、少しずつ友人ができつつあるらしくで楽しそうに様子を話してくれることもある。振り返れば、親が心に余裕を持って子どもに接するには、悩みを聞いてくれる人の存在や同じ境遇で悩んでいる人の話を聴くことが大切なのだと思う。そうしたことで、自分の気持ちが整理でき、ポジティブな気持ちでいられる状態がつかれるのだと感じている。(子どもと一緒に悩んだ母より)

## 「春」爛漫の中での体験活動

体験活動②「春の植物観察・俳句づくり」

体験活動③「畑作業(野菜等の植え付け)」

大型連休が終わり、「春」らしい日でした。あじさい広場や最上公園付近にはどんな植物が見られるのか、楽しみに散策に行きました。戻ってから俳句を短冊に書く課題を設けていたので時々句を声にする小さな声が聞こえました。「季語は？」と問うとますます声は小さくなってしまいます。しかし、他の会話は大きな声なので楽しんでる様子を感じ



サトイモの植え付け

て嬉しくなったのを思い出します。去年は満開の桜(でも花の数はとても少なかったことを思い出します。)が私達を迎えてくれましたが、今年は葉桜とわずかに残った遅い八重桜。そして、フジ・芝桜が見事でした。受験生は天満神社でお参りをし、撫牛(なでべこ)を撫でてプラザに戻り句をつくりました。

公園が彩られてく花々で

見つけたよ胡桃の新芽あたたかさ

芝桜皆の足もと華やかに

そよ風に揺れる草花水面かな

山々と青空バックにハナミズキ

水ぬるみ蛙踊りぬ城址かな

昨年より早い5月14日に畑の先生である五十嵐さんの指導をいただき、苗の植え付けと種まきをしました。雨の心配をしていたのですが、当日は曇り空。畑仕事にはとてもありがたい天気でした。初体験の人もいましたが、初めてとは思えない頼もしい働きぶりでした。今年はサトイモ・サツマイモの他にワタやベニバナも栽培します。8・9月の収穫は期待が持てそうです。通級生の中には、自宅から花の種を

持ってきて蒔いてくれた人もいます。時々様子を見に市民農園に出向き水をあげてくれている話にとっても感動しています。ワタやベニバナを見たことがない方はぜひ畑（市民農園）に足をお運びください。

## 「連携を深める中で・・・」

5月は、通級生在籍校との連絡会を設定していただきました。ねらいは、学校での様子はどうだったか、また通級時の学習内容やその取り組み、また体験活動時の様子について、情報交換し合い両者の生徒理解を深めること、さらに今後の指導のあり方を検討し学校復帰への糸口を見出していくこと等です。特に、通級生は3年生が多く、卒業を意識した指導が欠かせないと考えてのことでした。

各学校とも9年間のキャリア教育に関する一貫した計画に基づいて指導が進んできているでしょうが、通級生はどこからか途切れてしまっています。それに卒業後の情報や刺激が多い場にさらすことができないことも、当室としては歯がゆい感じがします。通級生といえども、キャリア教育とりわけ卒業に向けた進路選択に関する情報は理解させじっくり考えさせ選択させていきたいと考えています。そのためにも在籍校との連携は必須です。お陰で、お互いが十分情報交換し確認し合うことができ、復帰への足がかりもつかめたような気がしました。



シャイニングクラス（体育）

さて、通級生の最近の状況は？という、年度当初の張り切り過ぎの反動でしょうか、中には心身の不調を訴え欠席がちな生徒も出てきています。この状況を理解し生徒の心に寄り添うことはなかなか難しいことですが、通級までこぎつける気持ちをどうしたら高められるか。相談員もない知恵を出し合い、全員出席をめざそうと決意し取り組んでいます。今後よろしくをお願いします。



シャイニングクラス（社会科）

### 気楽に話し合う会 わくわく新庄

6月20日（金）19:00～21:00

不登校生を抱えてお悩みの方は、  
ぜひご参加ください。

## 6月の活動 シャイニングクラス在籍 5名

### < シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動（月2回）

#### ◆ 体験活動④ 6月 5日（木） ものづくりⅠ（知恵の輪・落款）



#### ◆ 体験活動⑤ 6月19日（木）キャリア教育

### あ と が き

最上保健所主催の「ひきこもりに関する研修会」に参加する機会を得ました。調査によると、県内のひきこもりは1,607人（男性が女性の3倍）、最上地区は106人と推定されています。社会に参加する上で困難を有する若者の実態、ひきこもりという現象の中にある何らかの精神障がいや発達障がい等を抱えている方の存在、ひきこもるケースの症例、支援法の解説でした。中には10年を越えるひきこもりの若者もいますが、こうした若者やご家族を支援しようと民間支援団体も含めて様々な支援機関が活動をしていることを、多くの皆さんに知ってほしいと感じました。

### 教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談  
TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）  
TEL 22-2111  
（内線 445、448）  
林、小野、鈴木が担当です。